

自分で守る
みんなで守る
防災教育

中学校

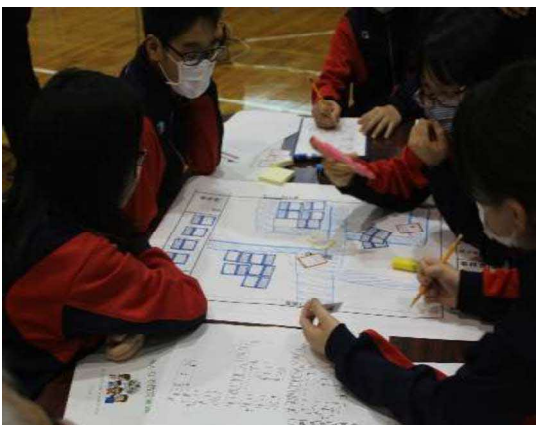
- Case 6 避難所運営ゲーム
- Case 7 防災クイズ
- Case 8 シェイクアウト訓練
救急救命訓練

13

Case 6 避難所運営ゲーム（総合的な学習の時間）



避難者の対応を考えています。



避難所運営について話し合っています。

- **ねらい**
 - ・避難所運営における様々な対応など、地域住民に協力できることを考えさせる。
 - ・自らの備えについて考えさせるとともに、対応の意見を生徒間で出し合うことを通して、他者を尊重する意識をもたせる。

- **内容**
 - ・北海道版「Doはぐ」を活用し、シミュレーション形式で、学校での避難所運営を体験します。
 - ・カードに示された様々な条件に対し、生徒が話し合いながら避難者の対応などを考えます。

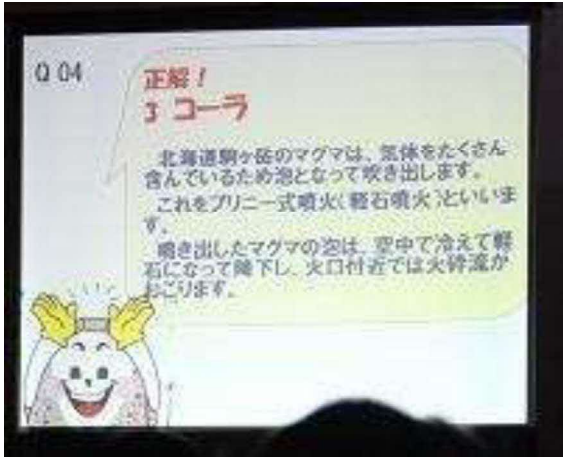
- **関係機関の協力**
 - ・市町村防災担当部局や振興局職員が進行、解説

14

Case 7 防災クイズ（特別活動）



講師が問題を出しています。



答え合わせをしています。

- **ねらい**
 - ・クイズを通して、生徒に避難時の適切な行動について考えさせる。
 - ・自らの備えについて考えさせるとともに、対応の意見を生徒間で出し合うことを通して、他者を尊重する意識をもたせる。

- **内容**
 - ・災害発生の仕組みや災害への備えに関する知識、避難時の適切な行動についてクイズ形式で、学びます。

- **関係機関の協力**
 - ・市町村防災担当部局や振興局職員による進行、解説

15

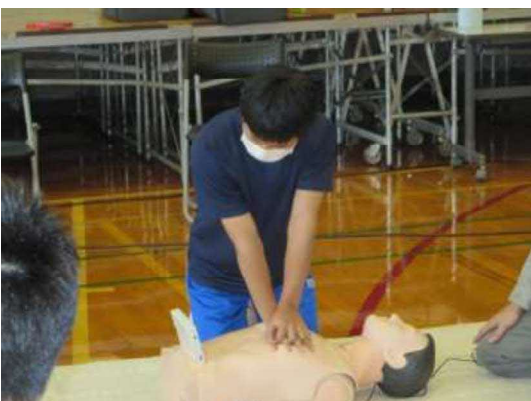
Case 8 シェイクアウト訓練、救急救命訓練（特別活動、保健体育）



机の下に避難し、頭を守っています。

○シェイクアウト訓練

- ・「まず低く、頭を守り、動かない」を合言葉に、災害時の適切な行動を体験を通じて学びます。
- ・地震を想定して、生徒が一斉に避難行動をします。



心肺蘇生法を実習しています。

○ 救急救命訓練

- ・他人の命を救うための初動的な知識・技術を習得します。
- ・災害による負傷者の心臓マッサージ等の訓練を行います。

16

○ 生徒の声

- ・災害が起きた時には、被災した人に協力しようと思いました。
- ・地域の災害の歴史や津波が来るまでの時間を学び、日頃から備えることが大切だとわかりました。
- ・津波が来た時は、とにかく高い所に上り自分の命を守らなければいけないと思いました。

○ 教職員の声（児童の変容や工夫点）

- ・小学校で行っている1日防災学校を含め、発達段階に応じた体系的な内容を意識して内容を設定した。
- ・危機管理マニュアルに基づく行動を大切にしつつ、臨機応変に動くことも重要であることがわかり、マニュアル改善にもつながった。
- ・学校全体の防災意識が高まり、避難訓練等の見直しにもつながった。

○ 関係機関の助言

- ・津波や噴火など、地域の地理的実態に応じた知識や訓練が必要です。
- ・日常の生活から防災を意識し、できることから備えることも大切です。

自分で守る
みんなで守る
防災教育